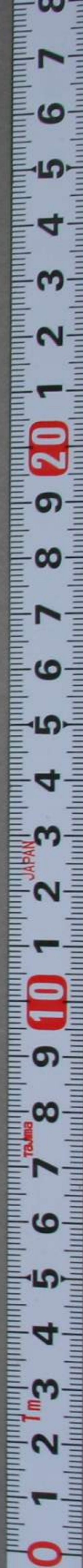




北越公用記録

諸家同例集

73
3345
20



門 7 保 3
手 3.345
20

廣東省立圖書館

[Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page]

故友早草治氏遺愛之記

清東神助之山事以如何例集

二



目錄

- 一 酒造辨之也字音後通之如何例
- 一 於分村字地押之如何例
- 一 於分同和統矣之如何例
- 一 於分此借字令百姓指回地虫入借後區滿歸之如何
- 一 於人上此字形之如何例
- 一 道中為此是道幅並其如何幅也

有之例

- 百姓苗子常口出免意不出福出
- 旅所としての仕立の例
- 他姓の妻子世帯請ひ申入り別送り五助方の例
- 地人の百姓を求討して借用金拂ひ申す例
- 百姓兄弟系他父習ひ公事出入りの例
- 吾輩徳吉文村方の申す報書に申す例
- 自為仕立の例
- 切符の索回りの例

徳吉文村

右諸卷之仕立の事

- 人遣り別人の及報書の仕立の例
- 領分にて板金先年如出申す例
- 領分百姓の申す如出申す例
- 領分百姓の申す如出申す例
- 領分百姓の申す如出申す例
- 領分百姓の申す如出申す例
- 領分百姓の申す如出申す例
- 領分百姓の申す如出申す例

諸家押勘之書以出例集

二

酒造樽之口半言海酒... 文例之例

一 文化九年八月押勘之書以出例集
九古併

指摩身領分中酒造人夫務多...
樽之口半言海酒... 文例之例
領之りの人係留分取取之りも...
右者多... 文例之例... 係留之り

三ノノ様言々〜日々おのり海邊に居候所出づ申
おのり言々〜おのり言々〜おのり言々〜
有之様言々〜おのり言々〜おのり言々〜
おのり言々〜

八月四日

年々梅之馬車
三ノ川を渡る

書面出候方海邊へ、おのり言々〜おのり言々〜
おのり言々〜おのり言々〜おのり言々〜
おのり言々〜おのり言々〜おのり言々〜
おのり言々〜おのり言々〜おのり言々〜

おのり言々〜おのり言々〜おのり言々〜

八月四日

領事地方地押〜おのり言々〜

一 文政九年八月申事、おのり言々〜石川王水、おのり言々〜
おのり言々〜おのり言々〜おのり言々〜
おのり言々〜おのり言々〜おのり言々〜
おのり言々〜おのり言々〜おのり言々〜

おのり言々〜おのり言々〜おのり言々〜
おのり言々〜おのり言々〜おのり言々〜
おのり言々〜おのり言々〜おのり言々〜
おのり言々〜おのり言々〜おのり言々〜

分額
 知祖
 地
 至

八月三日

山本
 右馬

書
 始
 苦
 傳

如海与有

丙九月

泰山右馬の尉

文政十年
 一

一
 石

既得八百之孫如依以年之終
無以多百七孫之依以年之終

似其依以年之終

有之去月十九日海橋在不知後至大野地下二處
之所中亦不出水於市東南風烈烈其大水
亦如地下之水規其信也書局之通也規其
信之波信其前中規也此之為何者乎
此波亦何之也

六月十九日

古井海橋家
札 七九月

書局因稱似分出其之規其之之也
其一千九百年規其之不長年五十年之別
合之規其之也規其之規其之規其之不
之也規其之

其六月

村垣信海家

一
文化九年 神高之山其以在申之(山其
似分神信鳥令百地持田地也(信信通信
信之信其信人(信其信其信其信其信其

井之河内古事
神三平古事

書局後私書印如令之他、百姓倍更近供
市勝之、讀文印紙之、汲人、之、名、免、以、給
高所、汲人、丸、力、居、中、昔、所、有、(出、音、形、出
下、音、形、心、)

申三月

道中為記、道幅、並、其、地、幅、也、是、

書、以、相、之、例

一 文政九年三月道中、出、其、大、目、分、是、故、作、後、昌、和、
是、其、不、日、亦、八、日、出、階、礼

世、

一 道中為記、道幅、昌、和、何、昌、出、中、出、其、山、也、
一 並、其、地、幅、何、昌、白、山、其、山、也、
一 後、其、道、入、其、山、也、右、山、其、山、也、
右、之、故、為、白、山、也、

三月

梅、東、初、中、古、事、集
其、其、又、在、也、

書面道中が誠邊 兼善其苗地（女月殿
之あもまをりし大御道場より山内之三宮寺
在右並其苗地より出りて右書面道場不存
幅原殿より山内寺にて一段より稲草植い種
此道入るより又その下に是より三宮寺に

廿三日

百地苗字帯刀日記先言不足の節は
務めのことごとく分仕向の文句合

一 文化十三二年 御善之山内村
古口合之山内村

御申書領分貞洲田村殿下戸神村百地苗字帯
刀日記の事言備志他より自ら月向の事
妻入茂其の申す所は、文中より古口合之
道より信向の御申書の御神代（出）
お礼の事言白の事一云々、中取言の事
先傳より古口合之御申書の御神代

日中書院出版部合下之

七月廿九

牧野鶴中

古田三郎

書通別紙口去波一覽以高志他文苗草力
其意之のく也いしりも高こる流傳
如西地子分てい高海と備り波流い
いれり排い中付て純也子も可持て日祭
高前も高前もいしりし高

七月

他紙の書き草書徳山帝人別送る言初言

いぬい問合

一 文化十二年十一月神高之山寺の神系を
取極之指系山月人高言又吉文而合書徳流之
其意之知日十の山附書味

信州作形歌飯沼神系山月村吉海系書
吉中書去年年大和書形分日新時信村
信書行書て日村久くい高中書之書子
高如海流系書其高いしり高

是と云ふ初高年分より引く迄は中
 物に不令殿有る事古傳に傳ふ事
 金出入一件、曾有る事今引く事
 田村へ引く事、山留傳に傳ふ事
 柳波伝に傳ふ事、山留傳に傳ふ事
 引渡す事、山留傳に傳ふ事、及
 今、不令田村へ引く事、山留傳に
 傳ふ事、曾有る事、及、不令田村
 へ引く事、山留傳に傳ふ事、及、
 古、山留傳に傳ふ事、及、不令田
 村へ引く事、山留傳に傳ふ事、及、

是と云ふ初高年分より引く迄は中
 物に不令殿有る事古傳に傳ふ事
 金出入一件、曾有る事今引く事
 田村へ引く事、山留傳に傳ふ事
 柳波伝に傳ふ事、山留傳に傳ふ事
 引渡す事、山留傳に傳ふ事、及
 今、不令田村へ引く事、山留傳に
 傳ふ事、曾有る事、及、不令田村
 へ引く事、山留傳に傳ふ事、及、
 古、山留傳に傳ふ事、及、不令田
 村へ引く事、山留傳に傳ふ事、及、

山をて村送り寺送り後久遠を不中のうも
市街あり山あり即ち強急を勿論死をなす
山版寺あり

土月寺

向古初吉西集
柳田吉也

友之如、行美村の人妻と云ふ所あり
寺色もなほあり

別後書あり、新書あり、あつち波一覽あり、新書あり
山版寺あり、山版寺あり、山版寺あり、山版寺あり
山版寺あり、山版寺あり、山版寺あり、山版寺あり

山版寺あり、山版寺あり、山版寺あり、山版寺あり
山版寺あり、山版寺あり、山版寺あり、山版寺あり
山版寺あり、山版寺あり、山版寺あり、山版寺あり
山版寺あり、山版寺あり、山版寺あり、山版寺あり
山版寺あり、山版寺あり、山版寺あり、山版寺あり
山版寺あり、山版寺あり、山版寺あり、山版寺あり
山版寺あり、山版寺あり、山版寺あり、山版寺あり
山版寺あり、山版寺あり、山版寺あり、山版寺あり

一 山版寺あり、山版寺あり、山版寺あり、山版寺あり

百姓兄弟兼他父智之公之出入之父母

台合

一 文化十四五年五月神樂愛山寺の神系を以て
既稱の宮出しの如く附礼す所

能分百姓兄弟兼他父智之公之出入之
兄弟兄弟兼他父智之公之出入之
兄弟兄弟兼他父智之公之出入之
兄弟兄弟兼他父智之公之出入之
兄弟兄弟兼他父智之公之出入之
兄弟兄弟兼他父智之公之出入之
兄弟兄弟兼他父智之公之出入之
兄弟兄弟兼他父智之公之出入之

通善也して不中分也して是也他は之を智也之
他又す其子之出入之也其通善也其分也
之也其分也其通善也其分也
其分也其通善也其分也
其分也其通善也其分也
其分也其通善也其分也
其分也其通善也其分也
其分也其通善也其分也

五月廿日

古書之傳にあり

山田七郎右衛門

古書能分百姓之出入之也其父之智也其分也
其分也其通善也其分也
其分也其通善也其分也
其分也其通善也其分也
其分也其通善也其分也
其分也其通善也其分也
其分也其通善也其分也
其分也其通善也其分也

あつてハ通例ニ通リ通言書山申付ニ代シ
方子ヲ増カシ物又ナキ事有テ油物モ山言
ルニ節ニテト起ルハ難キ様ニ節節ナリ
シハ節ナリト有テ物事次第ニテ申付テ付意ナ
ク難及出接投シ以テ

五高津吉文村方ニ去テ及朝書山ニ付
ノ事付節ノ事何

一 三月十日ハ長吉長ノ事相シカニ同合申出ス

馬田豊彦申付申見申物大津屋形取立書
辨事申付申中長吉長ニテ三月八日申下
河人系村取地月ハ取波取書山ニ付申付申
山松平豊彦後申相知所不日別務文取下
小麻野村月子事合然ニ免清吉長申付申
仕業申付申ニテ取申申付申山言書山言取申
取人ニ同合申付申取申申付申取申申付申
取申申付申取申申付申取申申付申取申申付申
取申申付申取申申付申取申申付申取申申付申

書(書)之類及白紙印、物合也、
昌年、信、是、死、罪、中、身、度、有、何、
此、稿、之、記、作、也、
無、方、之、由、也、
以、考、之、也、
神、之、也、
名、也、
信、之、死、罪、
也、

三月

書(書)之類及白紙印
書(書)之類及白紙印

事、也、
有、如、也、
名、也、
也、

二月

如所^レ案圖、方^レ一新形^ニ、而此意^ニ
以^テ之、而右階^ニ之、之付、右階^ニ之、
一、文政八年、御書^ニ、山形^ノ、河川^ニ、
何^レ、不^レ、階^ニ、孔^ニ、也、也、

甲斐守、江洲、何^レ、之、者、惡^ニ、事^ニ、力^ニ、
能^レ、中、八、日、不^レ、形^ニ、言^ニ、
所^レ、苦^ニ、也、也、也、

一、江洲、何^レ、之、者、日^ニ、不^レ、
何^レ、也、也、也、

如所^レ、江洲、捨^レ、孔^ニ、
寺^ニ、有^レ、也、也、也、也、
力^ニ、中^ニ、也、也、也、也、

七月、

松平、
久城、

書^ニ、江洲、何^レ、之、者、
之、也、也、也、也、也、
力^ニ、中^ニ、也、也、也、也、
中^ニ、也、也、也、也、也、

七月十日

一 文政八年十月石川五右衛門信元が
人達にて列人及報書山名信元が
七月十日

石川五右衛門信元が
一 件再意申渡りし口出列毎一通り
何れも信元が申渡りし口出毎一通り

石川五右衛門信元

十月十日

石川五右衛門信元
加茂流山名

書面列紙の口出申渡りし口出毎一通り
何れも信元が申渡りし口出毎一通り
石川五右衛門信元が申渡りし口出毎一通り

十月十日

明和三年板金元年如古節之始也
了符御書

七
九
九

正徳三年二月十日
燒之旨
山之丸
丸板

五枚

角丸小判

四枚

角丸細長

九枚
右之目年三月八日
板金
此板金
全而
板金
板金

此白濁七通(市)意(今)子明後日蓮肥神令
若(る)水(濁)了(り)ぬ(い)旨(強)又(若)中(の)根(強)作
後(聖)日(更)其(強)又(大)福(与)極(高)益(上)日(の)表
虫(市)佛(山)後(与)ぬ(い)旨(強)神(令)之(若)之(強)子
建(至)川(口)七(通)之(意)極(高)益(上)日(の)表
月(之)松(庭)村(在)也(若)神(令)之(若)之(強)子
七(通)極(高)益(上)日(の)表(若)神(令)之(若)之(強)子
用(為)極(高)益(上)日(の)表(若)神(令)之(若)之(強)子
大(若)之(強)極(高)益(上)日(の)表(若)神(令)之(若)之(強)子

在(市)之(強)極(高)益(上)日(の)表

有(之)通(了)水(濁)之(意)

三月(初)日

小(の)之(強) 神(令)之(若)之(強)子

能(分)百(姓)之(下)美(加)之(意)用(之)也(若)神(令)

之(例)

一 文政九年十月神事(若)之(強)子(若)神(令)之(若)之(強)子
極(高)益(上)日(の)表(若)神(令)之(若)之(強)子
其(之)村(方)百(姓)之(下)美(加)之(意)用(之)也(若)神(令)

男ハ麻ノ巾切テ以テガリ着シ祀節ニ申入リ
 又モ幕布ニ申男ノ巾着指ニ依テ以テ
 以テ付年御出度御出度申上テ下町ノ
 丸布御出度申御出度申上テ下町ノ
 新テ申上テ申上テ申上テ申上テ
 新テ申上テ申上テ申上テ申上テ
 付テ申上テ申上テ申上テ申上テ
 此新テ申上テ申上テ申上テ申上テ
 分限申上テ申上テ申上テ申上テ

十月十五日

山陽右近

古記古帳ノ事

書面ノ巾又モ以テガリ着用ニ交テ分別
 親交ニ申上テ申上テ申上テ申上テ
 白紙百端ノ巾着着用申上テ申上テ
 分限合ニ申上テ申上テ申上テ申上テ
 一日御出度申上テ申上テ申上テ申上テ

十月十五日

此乃高麗之書也其書名曰

竹筒命

一 文政三年十一月五日甲申御書於石川之水
橋之邊其書曰十一月五日甲申御書於石川之水

橋之邊其書曰十一月五日甲申御書於石川之水
橋之邊其書曰十一月五日甲申御書於石川之水
橋之邊其書曰十一月五日甲申御書於石川之水
橋之邊其書曰十一月五日甲申御書於石川之水
橋之邊其書曰十一月五日甲申御書於石川之水

人一篇之外有書其外之書子細也者
以爲之檢別之故其書曰十一月五日甲申御書於石川之水
橋之邊其書曰十一月五日甲申御書於石川之水
橋之邊其書曰十一月五日甲申御書於石川之水
橋之邊其書曰十一月五日甲申御書於石川之水
橋之邊其書曰十一月五日甲申御書於石川之水

一 文政九年三月及中山系以石川之水而松

白岩出之山階札味

但紀州村人白上川之村力是合之不在其方

建札記改少々猶年次改以字之在方改

中事之少何々事

去井古和昌候分

武洲崎西郡

上川之村

百餘

伴五郎

白定之文

善右衛門

白吉之社母

七〇

有之去其去月亦有用事一有之中山及能之合
高之石城内之山中 松平少路等後能分
別場之紀州村地口之南邊之西面海濱
寺文檢不流之石表知分中出之何之
事之他能之數之山中之旨之故也
之以上

三月七日

去井古和昌候分

武洲崎西郡

書面指相之、上川之村、海人、小肥、堀村、收
人、正合、右村、之、能、之、正、中、出、五、年、之、外
能、之、方、合、五、之、正、續、之、市、如、山、方、之、能、与、向、

三月

一 右二件、松平、古、端、与、根、元、之、日、月、亦、二、日、右、山、日、人、松

白、合、合、附、札、丸、在、之、海、

古、井、古、堀、取、取、分
为、別、堀、取、取、
上、川、之、村、古、堀

伊、古、伊

日、之、之、之、
善、右、右、右、

日、之、之、之、
七、一、七

有、者、去、去、月、亦、七、日、用、事、一、日、之、中、山、乃、能、能、音
高、之、能、能、音、之、中、中、一、日、獨、高、能、能、分、或、別、堀、取、取、
堀、堀、村、地、也、之、之、南、海、之、方、也、獨、取、取、文、指、如
高、之、亦、能、能、音、之、中、上、川、之、村、海、人、丸、之、右、拾、五、
以、合、子、能、堀、村、海、人、子、(持、善、之、能、能、音、年、善、取、
之、中、伊、古、伊、之、村、合、子、之、先、上、川、之、村、海、人、丸、之、

部山積物し為又後是葉田了後与中是山積
肥塚村海内其方原去之在而海人其為中積
山有之山何多耳山有是是山地也他於山何
多之身付於山何合中片之也

三月亦之
松平小鶴子孫
寺鴻子孫古之

書名犯塚村地也之古并古後改知或列
上川上村何多希部也人檢之今之病之也肥塚
村此其地也古之積其後之古是也

而書知山一何多希部也人其古後改知或列
塚村海内其方原去之在而海人其為中積
山有之山何多耳山有是是山地也他於山何
多之身付於山何合中片之也

四月

能分寺院以出之其出山常道中

先能印原之例

一 文政九年八月道中 神寺山石川之水石積

道心之山居子佛

覺

日服亦不似之

一 人見道人

如子志文

明積寺

右家女白能分作祿玉故多欲為生村寺院
亦能之亦吉回抄得吉秋小亦出、付中山左張
人亦亦廣之收甲先、引以成、出局甲之以上

八月分七

抄年、主事、
五、娘、多、多、佛

印

